



飛鶴の森林から

第40号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

学校林を知ろう

6月4日(金)と22日(火)の両日、白糠町立茶路小学校3年生～6年生の児童20名が総合的な学習の時間を利用して「学校林を知ろう」に取り組みました。

当センターでは学校林を知る手助けになればと、学校林を育てた昔の様子や学校林に木を植えた目的などを知ってもらいました。その後、学校林の簡単な図面を見ながら児童とともに学校林の樹木観察を行いました。

デジカメに記録

樹木観察では、児童が学校林の図面に木の位置や名前を記録、後日の観察のためデジタルカメラでの記録も行いました。



児童達は学校林での学習を今後数回行い、11月頃の参観日に観察結果を発表します。良い発表が出来ることを期待して第1回目の観察を終了しました。

樹木観察中



お知らせ

パイロットフォレストにおける野生動物自動撮影調査を次の日程で行います。

予備調査：7月6日～27日(3週間)

本調査：9月に3週間実施予定

「くしろエコ・フェア2010」が開催される

6月5日(土)～6日(日) 釧路市こども遊学館を会場に「くしろエコ・フェア2010」が開催されました。

このエコ・フェアは、毎年、環境月間に定められている6月に開催され、今年も30を超える団体が、各種展示・実演・交流など様々な企画を用意し、市民との交流を深めました。

当センターでは、「木の標本の展示」と端材で作成した積み木を使った「つみきであそぼう(つみっきー)」の二つの企画を準備し、森林や木に関心を持ってもらう機会を提供しました。

木の標本の展示



「木の標本の展示」では一本一本を手に取り木の感触を楽しんだり、「つみっきー」では、親子3人で積み木をドミノに見立てて並べ、積み木倒しを行ったり、バランスを考えながら高く積み上げたりするなど、多くの人たちに楽しんで頂きました。

くしろエコ・フェアは2006年に「釧路の環境を考える日」として始まり、今年で5回目を迎えました。エコ・フェアとしての取組が地域の

ドミノ? つみき倒し



お尻で「エイ！」

人たちの心に残り、環境について考えるきっかけになればと思います。



ボランティアによる植樹

6月8日(火)と12日(土)、雷別地区自然再生事業地でボランティアによる植樹を実施しました。

8日の植樹は、新宗連釧路地区協議会のメンバー25名が参加しました。普段使い慣れていないクワを使って、ミズナラ・ハルニレ・ヤチダモ・イタヤカエデ・シラカンバ400本を植えました。植樹後には、楽しみの1つである山ウド・ワラビなどの山菜採りを楽しみました。



新宗連釧路地区協議会メンバーによる植樹



遊歩道の散策



12日の植樹は、一般公募による釧路市民、標茶高校ボランティア部員など13名が参加して、8日と同様ミズナラなど400本を植えました。植樹後には、雷別の森林再生で目標としている天然林や郷土樹種を紹介している遊歩道の散策を行い、植樹で疲れた体を癒しました。

両日とも植樹を通して、雷別地区自然再生事業の必要性を少しでも学んで頂けたことと思います。

植樹に汗を流す標茶高校ボランティア部員たち

お年寄りを対象に森林浴

6月17日(木)、お年寄りを対象に様々な体験活動を提供している「桜ヶ丘ひびなクラブ」と連携し、標茶町・厚岸町にまたがる「パイロットフォレスト」において、ユニバーサルデザイン木道を利用した森林浴や飾り炭作り体験を行いました。

当日は快晴に恵まれ、会員のお年寄り11名とサポーター8名は、初めに、マツカサやホウズキなど4~5種類を缶に詰め、たき火の中で炭にする飾り炭作りを体験しました。その後、お年寄りでも安心して歩けるように、木道やチップ歩道になっている遊歩道を利用して森林浴を楽しみました。途中では別寒辺牛湿原の際まで降りて湿原の植物を観察したり、ストロブマツなどの外国樹種の葉を手に取り感触を確かめたりするなど、45分程かけてゆっくり歩きました。

最後に、パイロットフォレストを一望することが出来る望楼に登り360度カラマツ林が広がるパノラマを堪能しました。



記念写真

「森林ボランティア養成講座」 開講 (第1回)



植樹風景

6月27日(日)、今年度第1回目の「森林ボランティア養成講座」を開講しました。今回は、「植樹体験と遊歩道の看板設置」、「野草の観察会」と題して実施しました。

「植樹体験」では、ミズナラ・ヤチダモ・ハルニレ・イタヤカエデ・シラカンバの広葉樹400本を一本一本ていねいに植えました。「遊歩道の看板設置」では、歩道の順路板・樹木説明板など9基を設置しました。「野草の観察会」では、日頃、釧路湿原を拠点に活動している「釧路やちの会」事務局長の岩間氏を講師に招き、森林内ではつい見逃しがちな可憐に咲いている小さな草花の名前や由来、見分け方のポイントなどについて、解説してもらいました。

参加者の皆さんは、森林内での作業のつらさと楽しみ方の両方を学んだことと思います。次回は9月5日(日)に実施予定です。



野草の観察会の様子

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp